



# 助けあい 支えあいで 縁結び あいあいねっと通信

# 1月

新年、あけましておめでとうございます。  
今年一年の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活が大きく変化した1年となりました。日常の生活様式の変化だけでなく、経済的にも精神的にも大変な状況が続いています。

これまで、あいあいねっとでは、ひとり親家庭や広島市母子寡婦福祉連合会、児童館や児童デイ、大学生などへ食料支援を行ってきました。多くの方へ経済的な影響が出ている現状を受けて、あいあいねっとでは、コロナ支援の一環として、個人の方への食料支援も始めました。食品をお渡しするだけではなく、生活を援助する制度や窓口へ繋ぐことで、寄り添った支援が行えるよう、パートナー団体の反貧困ネットワーク広島のスタッフの方に、制度について教えていただき、今まで以上に連携して活動できる体制づくりも見直しました。



生活援助について学んでいます！！

メディアでも何度か取り上げられ、支援を求める問い合わせだけでなく、活動への協力の問い合わせも多く寄せられました。ボランティアで活動のお手伝いの申し出や10万円の給付金を寄付いただいた方、給付金で購入した食材を提供してくださった方、社員全員でのフードドライブで、33箱もの食品

を集めてくださったマイクロンジャパン（株）様、運搬用にとカーシェアリングの車を提供して下さっているダイハツ広島販売（株）様。食材の提供を申し出て下さる企業も多く、ここには書ききれないほどです。昨年の取り扱い量は、35.5tを超えました。食料支援を求められる方のひっ迫した現状を目の当たりにし、終わりの見えない食糧支援の作業に追われる中、こうした皆さんの温かいご協力に、私たちも本当に励まされています。心より感謝申し上げます。

提供車で運搬に行ってきます！！



フードドライブ、たくさんの食品が届きました！！

昨年は、新型コロナウイルスの感染予防を行いながらのフードバンク活動が中心となり、食品ロス削減活動や地域づくり活動は、最小限度の活動となりました。今年は、新型コロナウイルスの影響が収まり、みんなで楽しめるイベントが開催出来たらと思います。皆様が明るい毎日を過ごすことができますように☆彡

★日々の活動は、facebook で公開中

食べ物は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！



フードバンク活動

食品ロス削減活動

健康づくり活動・まちづくり活動

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなった食品（食品ロス）を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21

■TEL：082-819-3023

■FAX：082-815-6666

■Email：aiainet@nagominosato.jp

■web：http://www.aiainet.org/



社会福祉法人 正仁会



## 年頭によせて

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

新年 明けまして おめでとうございます

旧年中は、たいへんお世話になりました。

本年も旧年同様ご厚誼たまわりますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年より、コロナ禍の中、あいあいねっとはもちろんのこと全国のフードバンクは、自粛などで行き場を失った食品の受け皿となり食品ロスを減らすと共に、一方では、収入が少なくなると生活が苦しくなった方々に寄贈された食品をお渡しする活動を精力的に行っています。そういった状況の中、普段にもまして、フードバンクの活動に注目が集まっています。この間、あいあいねっとは、テレビ、ラジオ、新聞等のメディアに数多く取り上げられ、たくさんの方々のお目に留まったかと存じます。フードバンクは、役に立つ社会的な活動であるから、もっと増やそう！という意見をよく耳にします。しかし、よく考えてみると、私たちが生きている社会が生きづらい、不合理だ、不条理だなどの課題があるから、フードバンクのような社会課題解決型の活動が生まれ、活動を行っているのです。ですから、課題がなければ、生きづらさなどを社会の人々が感じないなら、このような活動は存在しなくてよいわけです。あいあいねっとは、だれ一人取り残すことなくみんなが仲良く、みんなが楽しく暮らしていくことのできる地域社会を目指して、フードバンクのような活動がなくなる日が訪れることを期待して、地域のニーズに応えるべく奮闘しています。

あいあいねっとは食品ロスを削減すると共に、寄贈された食品ロスを、本来の食べ物として蘇らせ、食品ロスの有効活用として、生活に困窮する人々を支援する団体に分配したり、地域を元気にする活動を展開されている団体に分配する3つの活動をミッションに掲げています。

あいあいねっとのこと、フードバンクのこと、食品ロスのことなどを、さらに多くの方に知っていただくよう、本年もミッション遂行に邁進して参ります。ご存知のように、あいあいねっとの活動は、地域社会の支援なくして成り立ちません。旧年にもまして、多くの方々のご理解ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

.....



### ☆もったいない食品をなくそうクイズ☆



毎日食べている食べ物のこと、あなたはどれくらい知っていますか？  
命をつなぐ、大切な食べ物のクイズに挑戦してみませんか？

第1問、世界で作られた食べ物はどれくらい捨てられているでしょう。

- A、1/3            B、1/7            C、1/10

第2問、日本では、食べられるのに捨てられる食べ物は、一年でどれくらい出るでしょう。

- A、約30万トン            B、約640万トン            C、約13億トン

第3問、日本の食品ロスは、事業者と家庭のどちらが多いでしょうか？

- A、事業者            B、家庭

第4問、賞味期限のついていないものはどれ？

- A、牛乳            B、小麦粉            C、アイスクリーム

食品ロス削減は、私たちが安心して暮らしていくために、世界中で取り組まれている課題です☆





## パートナーさんのご紹介

**【おおたけ株式会社】**は、あいあいねっとがフードバンク活動を始めた当初から、毎週火曜日に食品提供をしてくださっています。今年の6月で13年間のお付き合いとなります。ご協力ありがとうございます！！これからもよろしくお願いいたします。

### フードバンクへの思い

おおたけ株式会社 上馬場勉

私共がフードバンクへの取り組みを始めたきっかけは、おそらく10数年前になると思いますが、新聞記事を見て、広島でもこのようないい取り組みをされるところがあることを知り連絡を取ったことから始まります。

なぜなら、私共おおたけ株式会社は、外食店に向け主に青果物の卸をさせて頂いている企業です。その中には、カット野菜、下処理済野菜などがあり、どうしてもお客様の規格に合わない野菜、下処理後に行き場のない野菜など、まだまだ食べられるのに処分されてしまう青果物が出ておりました。

この様な青果物を少しでもお役に立てられないものか、少しでも処分に係るコストを削減できないものかと思い相談したところ、ぜひ提供してくださいとのお返事を頂きました。

このフードロス問題は、最近特に社会問題にもなるように注目を浴び、皆さんも意識し始めています。そういった中、改めて環境問題、提供企業からすれば、仕入れ商品が売り上げに繋がらない売り上げロスにもなるという状態に陥っています。

特に、私共のような生鮮野菜など生ものを扱う企業にとっては、消費期限というものは、基本的にはありません。従ってフードロスが出やすいともいえるし、出にくいとも言えます。企業からすれば、フードバンクに微力ながら貢献できているとは思いますが、これは本来の姿ではありません。努力してもフードロスはゼロにはなりません。しかしながら、フードバンクのためにフードロスを出すわけではありません。

メーカーで生産されたもの、農業生産者の方が必死で作ったものを、ロスなく消費していくには、現在消費期限の在り方も問われているようですが、私共がどうすればいいのか答えは分かりませんが、ぜひ行政の方、フードバンクに携わるすべての方が知恵を出し合って、一緒に今後のフードバンクを考えて行ければいいと思っております。



お花の形にくりぬかれた人参は、お料理を華やかにしてくれますね。たまごやミンチなど詰め物をしてもいいですね！！



クイズの答え！ 第1問A、第2問B、第3問A、第4問C いかがでしたか？  
日本の食品ロス、企業のほうが少し多いですが、約半分は家庭から出ています。  
賞味期限は、おいしく食べられる期限です。正しく理解して、上手に食べきってくださいね。



## 『令和3年の新年を迎え、あらためて社会福祉法人の使命を見つめる』

社会福祉法人 正仁会 業務執行理事 松林克典

コロナ禍で騒然としたまま令和2年もあっという間に過ぎ去りました。

あらためて、新年、明けましておめでとうございます。

令和3（2021）年の新春を迎え、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

平成30（2018）年2月にグループホームなごみの郷 可部とともに心機一転した“あいあいねっと”も間もなく新家屋で丸3年が経過しようとしています。

本音で申し上げますと、今年の年明けは決して穏やかに開けたとは言えません。現況は新型コロナウイルス第3波の感染拡大の最中、広島市内でもそこら中にクラスター（感染集団）が発生しています。介護施設と併設のフードバンク“あいあいねっと”としては、感染対策に余念がない中での活動下で、気が気でない日々を送っています。

令和2年は、世界中で流通に支障を来し、人や物の動きがないことで経済停滞も甚だしい状況でした。なぜかしら株価だけは右肩に上がり、実体経済とのミスマッチに世の中でお金だけが有り余っている感は否めません。つまり、土地バブルならぬ金銭バブルの様相で、いつ玉がはじけてインフレになるのかが心配でなりません。

これまでの3年間はあっという間の時間でしたが、3年前に今の日本の、いや世界の状況を予測できた人はいたのでしょうか？グローバル化が進展しヒト・モノ・カネが全世界を駆け巡り、それ以上のスピードで情報が飛び交う現代社会にあって、3年先は予測の立たない時間になったのかも知れません。アフリカ、南米、中国、ロシア、米国、日本も貧富の差は開く一方で、制度上平等を謳う社会主義国でさえも格差拡大が顕著になっています。ちょっとした行き違いや情報の遺漏で坂道を転がることもままあります。現状では真面目に一所懸命に生きていても不運が訪れることもあります。私たち社会福祉法人は、地域のセーフティネットとして生活の命綱の役割を果たすことが使命です。こういうときだからこそ、法人としての役割を一所懸命に担っていかなくてはなりません。

今年も様々な情報ソースを駆使したサービス展開の中から、より地域に還元できる活動に邁進していきたいと考えます。ヒトもチームも集団も組織も役割を持つことが大切です。皆が、それぞれできる役割を持ちながらともに歩み、令和3年を少しでも潤いのある年にしたいものです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

.....

### **私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します**

- ◆有限会社アトラス・コーポレーション◆アルフレッサファーマ株式会社◆アヲハタ株式会社
- ◆有限会社池田自動車◆株式会社エコールドフルール◆江崎グリコ株式会社◆株式会社 SKY コーポレーション
- ◆株式会社エムズホーム◆株式会社 M&K◆株式会社 M&C コラボレーション◆おおたけ株式会社
- ◆株式会社沖野建築設計◆有限会社オフィスシン◆京都 Bonappetit◆キューピー株式会社広島支店
- ◆株式会社九食◆医療法人社団恵正会◆有限会社健康宅配ネット◆カルビー株式会社◆有限会社佐藤運送
- ◆有限会社山菜木村◆株式会社山陽マルナカ◆シチズン時計株式会社◆ジャパンフード株式会社
- ◆スターライト工業株式会社◆生活協同組合ひろしま◆田邊農園株式会社◆株式会社多山文具
- ◆ダイハツ広島販売株式会社◆株式会社ダイヤス食品◆チヤヤス株式会社◆中国電力株式会社
- ◆中電環境テクノス株式会社◆株式会社トーホーフードサービス◆株式会社ナリコマエンタープライズ
- ◆有限会社ニシオカ◆公益財団法人広島市農林水産振興センター◆広島総合警備保障株式会社◆広島海苔株式会社
- ◆広島駅弁当株式会社◆株式会社フォーリーフ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆マルコメ株式会社
- ◆マルサンアイ株式会社◆マックスバリュ西日本株式会社◆株式会社マルバヤシ◆株式会社未癸◆ミック株式会社
- ◆美作大学食品ロス削減サークル◆株式会社ミライト◆有限会社エイコー商事◆山崎製パン株式会社広島工場
- ◆ゆかり屋本舗株式会社◆ワンダフルホーム株式会社

みなさま、いつもありがとうございます！